

被保険者一人当たりの諸費の推移

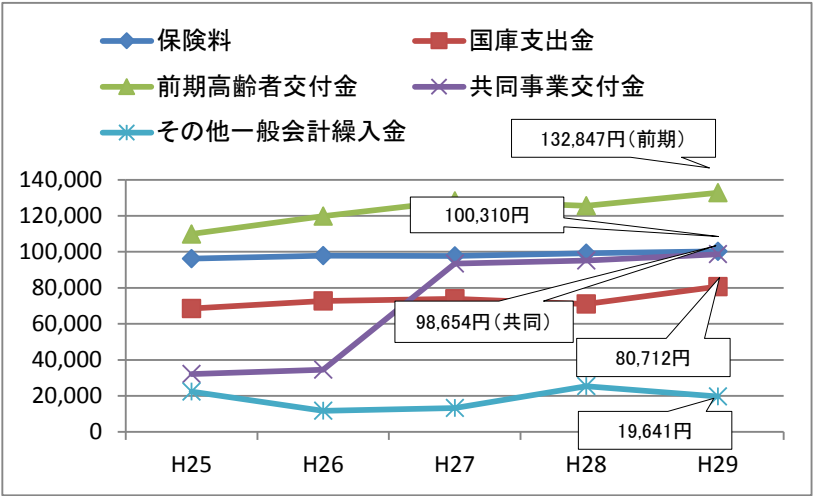
【参考】被保険者数(年度平均)の推移

単位:人

H25	H26	H27	H28	H29
48,714	47,451	45,807	43,685	40,528

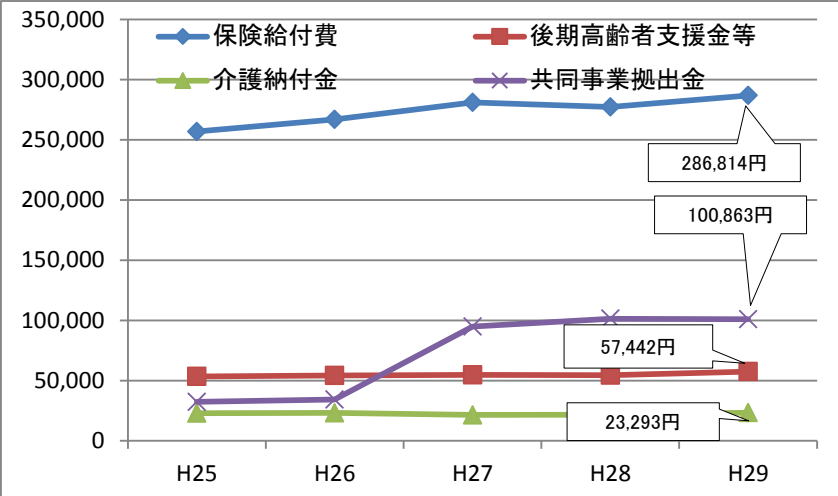
(歳入)

単位:円



(歳出)

単位:円



【用語説明及び概要】

保険料	国保加入者の所得や人数に応じて世帯単位で決まる。医療保険分、後期高齢者支援分、介護保険分からなる。 ⇒一人当たり保険料額は対前年1.0%の増、収納額全体では、被保険者数減により保険料総額4,065,344千円で全体で6.3%の減。
国庫支出金	療養給付費(医療費等)などに対する国の定率負担金(32%)など国からの負担金等。 ⇒一人当たり対前年13.5%の増、全体では5.3%の増。
前期高齢者交付金	各健康保険の前期高齢者(65歳～74歳)の偏在による不均衡を調整するため交付される。 ⇒鎌倉市は、全国平均より高齢化率が高いため交付される。平成29年度は前期高齢者の医療費が増加したため1人当たり対前年5.8%増、平成27年度の精算分を含め全体では1.9%の減。
共同事業交付金	高額医療費の再保険的事業に対する神奈川県国民健康保険団体連合会からの交付金。 ⇒医療の高度化に伴い一人当たり対前年3.6%の増、全体では3.9%の減。
その他一般会計繰入金	給付費等の不足分や各歳入予算科目における収入不足分を補填するために鎌倉市の一般会計から繰入れたもの。 ⇒次年度の予算を適正に執行するため、対前年1人あたり22.5%の減、全体で28.1%の減。

保険給付費	一般被保険者及び退職被保険者等に係る医療費など療養給付費等の経費で、支出全体の約60%を占める。 ⇒医療の高度化により一人当たりでは対前年3.4%増、被保険者数減により総額は、11,623,978千円で4.0%の減。
後期高齢者支援金等	75歳以上の方が加入する後期高齢者医療への支援金。 ⇒一人当たり対前年5.7%の増だが、被保険者数減により全体では1.9%の減となった。
介護納付金	介護保険法に基づく40歳から64歳の方が負担する介護保険料。 ⇒一人当たり対前年8.3%の増、全体では0.5%の増となった。
共同事業拠出金	高額医療が発生した場合に、保険者が給付に窮することがないよう、県内の全保険者が参加する再保険的事業への本市負担分。 ⇒医療の高度化に伴う拠出対象の増加により一人当たり対前年6.6%の増、全体で1.7%の増。